

## 令和7年度 事業体系図

所属名： 社会教育課

(単位：千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初要求額	前年度当初要求額	前々年度決算額	一般職人数	会計年度職員員数
9 教育費	4 社会教育費	1 社会教育総務費	292	社会教育振興	継続	1,596	1,660	1,510	1.1	0.0
			303	青少年育成啓発事業	継続	90	45	64	0.3	0.0
			309	次世代ことうらっ子育み推進事業	継続	1,612	1,773	1,419	0.4	0.0
			587	無盡庵管理	継続	134	134	119	0.1	0.0
			小計			<b>3,432</b>	<b>3,612</b>	<b>3,112</b>	<b>1.9</b>	<b>0.0</b>
9 教育費	4 社会教育費	2 公民館費	320	一般管理	継続	1,677	1,724	2,564	0.5	0.0
			674	赤碓地区公民館事業	継続	1,684	1,950	2,238	0.3	1.2
			675	安田地区公民館事業	継続	2,133	170,453	1,039	0.3	2.5
			676	成美地区公民館事業	継続	2,262	2,084	1,419	0.3	2.2
			677	以西地区公民館事業	継続	2,898	2,664	769	0.3	2.2
			678	八橋地区公民館事業	継続	2,359	3,178	1,431	0.3	1.2
			679	浦安地区公民館事業	継続	8,253	8,182	6,110	0.3	1.2
			680	下郷地区公民館事業	継続	1,273	2,217	1,152	0.3	1.2
			681	上郷地区公民館事業	継続	1,706	1,637	955	0.3	2.2
			682	古布庄地区公民館事業	継続	1,575	1,127	654	0.3	2.5
			小計			<b>25,820</b>	<b>195,216</b>	<b>18,331</b>	<b>3.2</b>	<b>16.4</b>
9 教育費	4 社会教育費	3 文化財保護費	321	町内文化財保護事業	継続	4,648	3,623	3,852	0.8	0.0
			322	文化財活用啓発事業	継続	72	0	131	0.1	0.0
			323	民俗資料館管理	継続	159	136	289	0.1	0.0
			小計			<b>4,879</b>	<b>3,759</b>	<b>4,272</b>	<b>1.0</b>	<b>0.0</b>
9 教育費	4 社会教育費	4 埋蔵文化財発掘調査費	324	町内遺跡発掘調査事業	継続	2,030	2,431	2,619	0.5	0.0
			小計			<b>2,030</b>	<b>2,431</b>	<b>2,619</b>	<b>0.5</b>	<b>0.0</b>
9 教育費	4 社会教育費	5 生涯学習センター運営費	325	生涯学習センター管理費	継続	43,415	445,116	54,738	1.0	1.0
			小計			<b>43,415</b>	<b>445,116</b>	<b>54,738</b>	<b>1.0</b>	<b>1.0</b>
9 教育費	4 社会教育費	6 図書館費	329	図書館活動費	継続	18,814	19,447	19,707	4.0	6.0
			小計			<b>18,814</b>	<b>19,447</b>	<b>19,707</b>	<b>4.0</b>	<b>6.0</b>
9 教育費	4 社会教育費	7 文化芸術振興費	311	文化振興事業	継続	2,580	2,689	1,889	0.4	0.0
			小計			<b>2,580</b>	<b>2,689</b>	<b>1,889</b>	<b>0.4</b>	<b>0.0</b>
9 教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務費	333	一般管理	継続	199	139	142	0.1	0.1
			小計			<b>199</b>	<b>139</b>	<b>142</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>
9 教育費	5 保健体育費	2 体育振興費	1483	スポーツ・運動推進事業	継続	13,255	22,207	11,568	0.4	0.4
			小計			<b>13,255</b>	<b>22,207</b>	<b>11,568</b>	<b>0.4</b>	<b>0.4</b>

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続 等の別	当初要求額	前年度 当初要求額	前々年度 決算額	一般職 人数	会計年度 職員員数
9 教育費	5 保健体育費	3 体育施設費	349	社会体育利用施設管理	継続	3,454	3,519	2,454	0.1	0.5
			350	平岩記念会館管理運営	継続	1,515	1,220	1,153	0.1	0.2
			351	東伯総合公園管理事業	継続	23,078	25,198	17,535	0.6	1.9
			417	農業者トレーニングセンター運営	継続	2,733	3,120	1,895	0.1	0.3
			418	赤碓総合運動公園管理	継続	6,130	6,551	6,157	0.1	1.3
			1627	東伯総合公園改修事業	継続	357,810	165,660	6,160	0.5	0.0
			小計						<b>394,720</b>	<b>205,268</b>
所属合計						<b>509,144</b>	<b>899,884</b>	<b>151,732</b>	<b>14.0</b>	<b>28.1</b>

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	292	事業名	社会教育振興		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,596	0	0	0	0	1,596		
前年度予算額	1,660 (比較：△64)		前々年度決算額		1,510 (比較：86)			
トータルコスト	9,301	一般職人件費		7,705 (1.1人)		会計年度職員人件費	(0人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」を推進。(社会教育における地方公共団体の任務「学び・教え合いの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成」と生涯学習の理念「豊かな人生」のイメージの具現化を目指す。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○新型コロナウイルスの5類移行に伴い、社会教育団体の活動もコロナ前に戻りつつあるので、各種団体の活動が活発となるよう支援する。 ○社会教育委員会などで町の教育行政の進め方について積極的に意見を聴取し、事業に活かす。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
一般管理	社会教育施設管理にかかる経費、公用車管理等。	949	単町	
社会教育委員報酬	社会教育施策全般について社会教育委員会を開催する。 メンバー：社会教育団体（婦人会、文化協会、PTA）の代表、 学校長、スポ推、地域活動者など10名。 年2回開催。	40	単町	
各団体負担金	県社会教育協議会等負担金。	141	単町	
町連合婦人会補助金	町内でのこども食堂の実施、こども園等での食育普及活動、 高齢化社会や環境浄化への対応、地域福祉の増進を図るため に、会員研修や事業を実施する。 補助率10/10。上限340千円。	300	単町	
PTA連合協議会補助金	町内小中学校のPTA活動の共通問題の解決に向けての実践や会 員相互の情報交換及び研修を実施。 補助率10/10。上限51千円。	10	単町	
教養講座	まなびタウン教養講座・寿大学での講師謝金。	100	単町	教養講座・寿大学とともに地区公民館 を会場としていたが、改修工事が終 了することにとまなびタウン を中心に展開する。
文化協会補助金	赤碓文化協会・東伯文化協会が団体や会員の相互の連携を保 ちながら郷土発展に寄与することを目的とした支援。 補助率 10/10。 上限28千円/団体	56	単町	
合計		1,596		
その他事業内容	教養講座の様子（ジオラマ作成講座） 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	90	0	0	11	0	79	全国子ども会安全共済会 市町村事務費 1 県子ども会育成連絡協議 会助成金 10	
前年度予算額	45 (比較：45)			前々年度決算額		64 (比較：26)		
トータルコスト	2,191	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、青少年健全育成協議会と子ども会活動の支援を行う。			
前年度からの 改善点等	青少年健全育成協議会事業を、292から移行し、青少年健全育成協議会と連携した事業展開を行う。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	少人数により活動が出来ない子ども会に対して、活動状況の聞き取りや、少人数でも活動ができる提案や支援ができる研修会が必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
青少年健全 育成協議会 補助金	青少年健全育成関係団体及び個人により構成。連絡連携と事業を実施することにより青少年健全育成を推進する。 補助率 10/10。 補助金45千円(上限256千円)	45	単町	事業番号292から303に移行し、青少年育成啓発事業として更なる推進に取り組む。
子ども会活動 支援事業	次年度の子ども会リーダーと育成者対象の研修会を開催すると共に、子どもが主体の子ども会運営の情報提供を行う。単位子ども会が成立しないところについては、助言・相談を行ったり、地区公民館単位での交流会等の実施につなげる。 講師謝金30千円、消耗品15千円	45	単町	
合計		90		
その他事業内容	<p>子ども会リーダー研修会</p>			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,612	0	1,073	0	0	539		
前年度予算額	1,773 (比較：△161)		前々年度決算額			1,419 (比較：193)		
トータルコスト	4,414	一般職人件費		2,802 (0.4人)		会計年度職員人件費		(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのため に)	体験教室を通じた世代間交流や、ふるさとの自然や歴史の学びを通して、子どもの心身・想像力・生きる力、ふるさとを愛する心を育てる。 地域住民の参画を得て、子どもたちの学校以外の居場所を確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			
前年度からの 改善点等	○こども塾で学んだ塾生を、中学生や高校生のジュニアリーダーとして自主的に活動できる人材育成に繋げる。 ○子どもパークは、参加者のアンケートや運営委員の意見等を元に、現在の教室内容を精査する。 ○放課後子ども教室の、水曜よりみちクラブ(赤碕)を本格的に稼働し、放課後の子どもの活動場所を充実させる。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○こども塾、子どもパークとも運営委員の後継者を見つけることが課題。 ○例年同じ内容だと参加者も固定化するため、実施内容を検討し、多くの参加者に経験の場を与えることが必要。 ○放課後子ども教室を他地区に広めることを進める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
家庭教育講座	乳幼児期・児童期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育講座を開催し、子育ての支援を行う。 回数 小中学校5回、支援センター・公民館4回 内訳 講師謝金(小中学校)12,000円×5回、(支援センター・公民館)10,000円×4回、消耗品費2,000円×9回	118	県2/3、町1/3	
ことうら子どもパーク	ものづくり体験教室を通して、子どもの想像力・生きる力・科学や技術を学ぼうとする力を育成。 回数 年15回程度。運営委員会へ委託。 内容 工作、手芸、調理、実験等。 対象 小学生	561	県2/3、町1/3	
放課後子ども教室	放課後等に地域住民の見守りのもと、子どもが安心して活動できる場を提供する。地区公民館で学習や遊びなどを通して地域住民との交流を図る。 〔成美地区公民館〕みちくさクラブ 毎週水曜日の放課後 5月～3月(長期休暇、祝祭日は休み) 〔赤碕地区公民館〕水曜よりみちクラブ 第1、3、5水曜日の放課後 5月～3月(長期休暇、祝祭日は休み)	523	県2/3、町1/3	○放課後子ども教室を、成美地区公民館に加え、赤碕地区公民館でも年間を通して本格的に実施する。
琴浦こども塾	先人の生き方や教えに学びながら、地域の歴史・文化を通じた体験活動により、人間力・実行力のある人材を育成する。 回数 17回程度。運営委員会に委託。 内容 先人の生き方や教えの学び、茶道、地域学習等。 対象 小学4年生～中学1年生 委託料 410千円	410	県2/3、町1/3	
合計		1,612		
その他事業内容	ことうら子どもパーク「弁当づくり」  琴浦こども塾「ひまわりの苗植え」 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	587	事業名	無盡庵管理	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	134	0	0	0	0	134		
前年度予算額	134 (比較：0)				前々年度決算額	119 (比較：15)		
トータルコスト	834	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費	(0人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流施設「無盡庵」として親しまれている旧桐谷家住宅の維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	〇地域の方々の利用に不便をかけないように維持管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
維持管理事業	消耗品費	3千円	134 単町	
	光熱水費	82千円		
	建物災害共済保険料	7千円		
	清掃委託料	15千円		
	下水道使用料	27千円		
	合計	134		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	320	事業名	一般管理	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,677	0	0	0	0	1,677		
前年度予算額	1,724 (比較：△47)				前々年度決算額	2,564 (比較：△887)		
トータルコスト	5,179	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費	(0人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	各地区内自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民自らが実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図る。また、地域の課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
9地区公民館施設修繕にかかる経費	9地区公民館において随時発生した修繕に対応する。	600	単町	
9地区公民館清掃作業にかかる経費	各地区公民館のトイレ・館内清掃 9館×12月×2,400円=259,200円	260	単町	
9地区公民館保険料	「公民館総合補償制度」(行事傷害補償制度M型)への9地区分の掛金。	774	単町	
除雪機保険にかかる経費	除雪機保険(下郷・古布庄・成美・以西) 10,520円×4台=42,080円	43	単町	
合計		1,677		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,684	0	0	46	0	1,638	公民館使用料	
前年度予算額	1,950 (比較：△266)		前々年度決算額			2,238 (比較：△554)		
トータルコスト	8,685	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,900 (1.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	赤碕地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの改善点等	6年度に実施していたスポーツ大会(グラウンドゴルフ交流会・ソフトボール大会・卓球大会)に加えて、だれもが参加できるニュースポーツ(モルック・ポッチャなど)を実施する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①幅広い年齢層の方たちがともに交流できる居場所作りのための事業をすすめる。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに住民参加型の運営体制を検討していく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	公民館活動における社会体育活動や、高齢者・青少年・成人・女性学級等にかかる経費。スポーツ関連(グラウンド・ゴルフ交流会、盆ソフトボール大会、運動会、卓球大会)、文化事業(公民館祭)、高齢者事業(わくわく元気スタジオ、スマホ相談会)、子ども事業(機織り、星を見る会)、物づくり(フラワーアレンジメント、寄せ植え教室)等を実施する。 ・報償費 158千円 ・消耗品費 398千円 ・借上げ料 16千円	572	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理に関わる経費 ・燃料費 44千円 ・火災保険料 23千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 54千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 27千円 ・光熱水費 522千円 ・通信運搬費 119千円 ・消耗品 80千円 ・手数料 7千円	890	単町	
	合計	1,684		
その他事業内容	<p>公民館事業(夏の星の観察会・わくわく元気スタジオ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,133	0	0	330	0	1,803	公民館使用料 40 普通財産使用料 50 小学校体育館使用料 240	
前年度予算額	170,453	比較：△168,320			前々年度決算額		1,039 (比較：1,094)	
トータルコスト	14,841	一般職人件費		2,101 (0.3人)			会計年度職員人件費	10,607 (2.5人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、安田地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	本年度も継続して、安田地区公民館の運営に関する審議及び利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費 【報酬】 ・公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費・通信運搬費等 ・光熱水費 1,350千円 ・通信運搬費 62千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 4千円 ・火災保険料 89千円 ・消防設備保守点検委託料 177千円 ・電気工作物保安管理委託料 188千円 ・下水道使用料 29千円 ・NHK受信料 12千円	1,911	単町	
	合計	2,133		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,262	0	0	80	0	2,182	公民館使用料	
前年度予算額	2,084 (比較：178)		前々年度決算額		1,419 (比較：843)			
トータルコスト	12,465	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		8,102 (2.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	成美地区内各自治体と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決を図る。			
前年度からの改善点等	事業を見直しスクラップ&ビルドを進める。区長会・公民館運営協議会と連携をとり、地域課題解決に向けて老若男女参加できる事業を企画運営する。 こども園との複合施設に移転することを考え乳幼児教室をさらに充実させる。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①引き続き、成美地区にとって必要な取り組みを企画し実践していくことが必要。 ②助けあいのできる地域を目指して、組織などの運営体制を検討する。 ③地域の課題解決のために、いまここ食堂や立子谷プロジェクトなど、他団体との連携を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・燃料費 43千円 ・火災保険料 136千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 61千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 29千円 ・光熱水費 1,047千円 ・通信運搬費 96千円 ・消耗品 187千円	1,613	単町	令和7年度より施設移転にかかる経費が加わる。
公民館活動にかかる経費	公民館活動(運動会・いまここ教室・乳幼児学級・ポッチャ大会、公民館祭、乳幼児教室等)にかかる経費 ・報償金 80千円 ・消耗品費 320千円 ・印刷製本費 17千円 ・借上料 10千円	427	単町	
	合計	2,262		
その他事業内容	<p>公民館事業(いまここ乳幼児教室、防災講座の実施)</p> 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	677	事業名	以西地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,898	0	0	1,394	0	1,504	公民館使用料 40 旧以西小学校体育館使用料 9 諸収入(自販機電気代) 21 その他使用料 180 農業研修生宿泊施設使用料 1,144	
前年度予算額	2,664 (比較: 234)		前々年度決算額		769 (比較: 2,129)			
トータルコスト	13,346	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費 8,347 (2.2人)		

## 3 事業の概要

事業の目的(なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、以西地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、安心安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費 22,200円×10人	222	単町	
公民館運営管理にかかる経費	公民館と旧以西小学校に維持管理にかかる経費。 ・報償金(除雪作業) 24千円 ・消耗品費 10千円 ・燃料費 36千円 ・光熱水費 1,681千円 ・通信運搬費 121千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 18千円 ・火災保険料 51千円 ・消防設備保守点検委託料 273千円 ・電気工作物保安管理委託料 231千円 ・下水道使用料 219千円 ・NHK受信料 12千円	2,676	単町	
	合計	2,898		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,359	0	0	19	0	2,340	公民館使用料	
前年度予算額	3,178 (比較：△819)			前々年度決算額		1,431 (比較：928)		
トータルコスト	9,452	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,992 (1.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	八橋地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの 改善点等	事業の内容・日程を見直す。スポーツ大会の卓球大会では年齢関係なく参加しやすい方法を検討する。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10名	222	単町	
公民館活動 にかかる経 費	各種事業（教養講座・スポーツ大会等）による経費。主な事業：公民館まつり、八橋ぶらりウォーキング、スポーツ大会（グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、卓球大会）、八橋キッズ（海で遊ぼう磯遊び、ケーキづくり）等。 ・報償金 100千円 ・消耗品費 338千円 ・借上料 10千円	448	単町	
公民館管理 にかかる経 費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費、通信運搬費等 ・燃料費 27千円 ・火災保険料 78千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 62千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 27千円 ・光熱水費 761千円 ・通信運搬費 143千円 ・消耗品 150千円	1,262	単町	
施設内修繕	施設の修繕工事にかかる経費。 給湯器設置工事 330千円 手すり取付工事 97千円	427	単町	修繕箇所が発生したため。
	合計	2,359		
その他事業内容	公民館事業（第4回海で遊ぼう！磯遊び、第48回八橋地区公民館まつり） 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,253	0	0	3,163	0	5,090	公民館使用料 137 公民館使用料【社協使用 分】3,026	
前年度予算額	8,182 (比較：71)		前々年度決算額		6,110 (比較：2,143)			
トータルコスト	15,284	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,930 (1.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合う様な環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの 改善点等	高齢者の居場所づくりを行うと共に、地域の防災・防犯意識を高め、地域活動への参加意識を醸成し、地域との連携を深め、安全・安心な地域づくりを目指す。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動 にかかる経 費	各種事業（教養講座、各種スポーツ大会等）にかかる経費。 主な事業：公民館まつり、スポーツ大会（グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、ニュースポーツ大会）、健康麻雀教室、スマホ相談会等。 ・報償金 76千円 ・消耗品費 355千円 ・借上料 21千円	452	単町	
公民館管理 にかかる経 費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・燃料費 62千円 ・火災保険料 185千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 138千円 ・電気工作物保安管理業務委託料 220千円 ・昇降機管理委託料 779千円 ・清掃委託料 36千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 360千円 ・光熱水費 5,256千円 ・通信運搬費 155千円 ・消耗品費 330千円 ・手数料 14千円	7,549	単町	
浦安地区公 民館駐車場 負担金	浦安地区公民館駐車場負担金 30千円	30	単町	
合計		8,253		
その他事業内容	公民館事業（浦安地区公民館まつり、浦安地区総合スポーツ大会）  			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,273	0	0	14	0	1,259	公民館使用料	
前年度予算額	2,217 (比較：△944)		前々年度決算額		1,152 (比較：121)			
トータルコスト	8,366	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,992 (1.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	下郷地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの改善点等	各行事の開催日程を検討し、参加者増加を図り、地域住民の交流に繋げる。 公民館まつり等、老若男女参加できる企画を早めに検討し来館者増加を図る。 公民館事業のスクラップ&ビルドを進め、地域課題解決に向けて検討していく。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	公民館事業の2大イベント町民運動会、公民館まつりに全部落が協力的であり、今後も住民同士の繋がりを進めていく。 幼児から高齢者までの幅広い年代が参加できるような事業を検討していく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	公民館事業に係る経費。主な事業：町民運動会、公民館まつり、教養講座、健康マージャン、女性教室、まちの保健室、せいごっくキッズ等。 ・報償金 114千円 ・消耗品 265千円 ・借上料 25千円	404	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館を維持管理する上で必要な経費 ・燃料費 20千円 ・火災保険料 54千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 18千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 32千円 ・光熱水費 296千円 ・通信運搬費 90千円 ・消耗品 123千円	647	単町	
	合計	1,273		
その他事業内容	<p>公民館事業（下郷地区町民運動会、下郷地区まちの保健室特別コース）</p> 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,706	0	185	20	0	1,501	公民館使用料	
前年度予算額	1,637 (比較：69)		前々年度決算額		955 (比較：751)			
トータルコスト	11,919	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		8,112 (2.2人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	上郷地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養向上・生活文化の振興等、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの 改善点等	上郷・倉坂たすけあい交通の本格的運行を支援する。 上郷公民館広場に、地元住民と協力して芝生を移植し地域の交流の場を作る。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	地域課題や住民のニーズに応じた事業展開に努める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営協議会委員報酬 ・報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動 にかかる経 費	各種教室・スポーツ大会等に係る経費。主な事業、健康サロン、住民レクリエーション交流会、公民館まつり、教養講座、女性教室、せいごうキッズ等。 ・報償金 108千円 ・消耗品費 160千円(活動) ・借上料 10千円	278	単町	
上郷ふれあい 広場緑化 事業 【新規】	東伯総合公園サッカー場の芝を、上郷地区公民館広場に移植し、住民の交流の場を作り地区住民の活性化を図る。 ・委託料 370千円	370	県1/2、町1/2	上郷地区公民館の広場を芝生化にする。
公民館管理 にかかる経 費	公民館施設管理に係る経費 ・消耗品費 142千円 ・燃料費 17千円 ・光熱水費 400千円 ・医薬材料費 2千円 ・通信運搬費 132千円 ・手数料 23千円(モップ交換) ・火災保険料 31千円 ・消防施設保守委託料 50千円 ・使用料 27千円(公共下水使用料) ・テレビ受信料 12千円	836	単町	
	合計	1,706		
その他事業内容	<p>公民館事業(上郷地区公民館まつり、レクリエーション交流会)</p> 			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,575	0	0	5	0	1,570	公民館使用料	
前年度予算額	1,127 (比較：448)			前々年度決算額		654 (比較：921)		
トータルコスト	13,306	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		9,630 (2.5人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、古布庄地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	古布庄地区公民館運営協議会委員報酬 【報酬】 ・公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館管理 にかかる経 費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等を行う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 13千円</li> <li>・燃料費 28千円</li> <li>・光熱水費 544千円</li> <li>・通信運搬費 179千円</li> <li>・手数料(トイレ配管洗浄・浄化槽・鍵保管) 194千円</li> <li>・火災保険料 83千円</li> <li>・浄化槽維持管理委託料 40千円</li> <li>・消防設備保守点検委託料 88千円</li> <li>・下水道使用料 29千円</li> <li>・NHK受信料 12千円</li> </ul>	1,210	単町	
不要木伐採 にかかる経 費 【新規】	立木伐採委託料(2本) 143千円	143	単町	地元住民からの要望により敷地内の立木の伐採が必要となったため。
合計		1,575		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,648	56	0	0	0	4,592		
前年度予算額	3,623 (比較：1,025)		前々年度決算額			3,852 (比較：796)		
トータルコスト	10,252	一般職人件費		5,604 (0.8人)		会計年度職員人件費		(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内文化財を後世に継承するため、文化財の適切な保存管理を行うとともに、文化財の調査や公開、活用を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解することで町民の郷土愛の醸成に資するほか、町外に本町の魅力を発信する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	〇人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきています。今後の支援のあり方（拡充）など検討したい。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
町文化財保護審議会	町内文化財に関する会議を開催する。 委員10名(定員)×3回×2千円	60	単町	
町内文化財指導巡視員	毎月1回定期的に町内文化財の巡視を行う。 国・県指定2名×3回×4,600円、町指定2名×12回×4,600円。	138	単町	
伯耆の大シイ樹勢診断	伯耆の大シイ樹勢診断	25	単町	
指定文化財管理料	指定文化財の清掃等、地区や団体、所有者等による環境保全にかかる経費。 国指定：2件 県指定：13件 町指定：32件 未指定(移築古墳)：1件 手数料・委託料 435千円	435	単町	
指定文化財管理	町内にある指定文化財管理のため草刈り、除草等を実施する。 史跡等8件	1,401	町 1345 国 56	
無形民俗文化財補助金	三本杉盆踊り保存会、逢東盆踊り保存会、以西おどり保存会の保存伝承活動を支援する。 3団体×20千円	60	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金 (河本家住宅公開活用事業)	河本家住宅の公開活用活動を支援する。 補助対象事業費1,000千円(1/2補助)	500	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金 (倉阪神社修理事業) 【新規】	倉阪神社修理工事補助金 事業費1,738千円(1/2補助)	869	単町	
特別史跡齋尾廃寺出土遺物調査	特別史跡齋尾廃寺跡総括報告書の発刊にむけて奈良国立博物館、京都国立博物館が所蔵する齋尾廃寺跡出土遺物の実測図作成、写真撮影を行うほか、町所蔵の未報告遺物の調査、記録作業を行う。 旅費 274千円 報償金 564千円	838	単町	総括報告書刊行後、調査成果を公開(令和9年度予定)するための準備等も併せて実施。
その他事務経費	全国史跡整備市町村分担金等	322	単町	
合計		4,648		
その他事業内容				

斎尾廃寺跡再調査・整備スケジュール

	R3～ 7	R8	R9	R10	R11	R12 ～	備考
再調査	—						昭和末～平成初に実施した調査の再調査。国の補助事業で実施しているため、事業費により期間延長もあり得る。
総括報告書		—					
整備にかかる調査			—	—			発掘調査の成果が少ないことから、期間延長もあり得る。
整備計画			—	—	—		
整備（設計・工事）						—	

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	322	事業名	文化財活用啓発事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	72	0	0	0	0	72		
前年度予算額	0					前々年度決算額	131 (比較：△59)	
トータルコスト	772	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集保管を行い、町施設での展示や学校の体験学習に活用し、町民が地域の歴史文化に触れられる機会を提供する。			
前年度からの 改善点等	これまでに整理、修復をした民俗資料の見学、体験会など公開活用事業を実施する。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○収蔵資料の調査を行い、文化財的価値付けが困難な資料などの整理を進めます。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
民俗資料除 籍費用	旧古布庄小学校に保管している民俗資料について、資料調書を基に、民俗資料として価値付けができないもの、破損の著しいものの除籍など再整理を行う。併せて修復が可能なものは修復し、公開活用事業に資する。 除籍資料処分委託料 62千円 消耗品 10千円	72	単町	令和6年度に休止した資料整理、除籍作業を再開する。
	合計	72		
その他事業内容	整理作業未実施資料	整理作業実施後		
				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	159	0	0	0	0	159		
前年度予算額	136 (比較：23)			前々年度決算額		289 (比較：△130)		
トータルコスト	859	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集保管を行い、町施設での展示や学校の体験学習に活用し、町民が地域の歴史文化に触れられる機会を提供する。			
前年度からの 改善点等	引き続き町民が地域の歴史文化に触れられるよう、展示資料、体験用資料を充実させる。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	〇小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方、内容等の検討をする。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
民俗資料館 展示	歴史民俗資料館の利用促進のため、展示方法の改善・充実を図る。 消耗品 20千円	20	単町	
鳥取県ミュー ジウムネ ットワーク 負担金	県内博物館等と協力・連携を図る。 負担金 2千円	2	単町	
町内文化財 の解説シー ト等作成	グラフィックデザイン編集ソフトを使用し、文化財の解説シート等の作成など情報発信を行う。 ソフト使用料 137千円	137	単町	
合計		159		
その他事業内容	<p>小学校見学</p>			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	4 埋蔵文化財発掘調査費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,030	1,000	500	0	0	530		
前年度予算額	2,431 (比較：△401)				前々年度決算額	2,619 (比較：△589)		
トータルコスト	5,532	一般職人件費		3,502 (0.5人)			会計年度職員人件費	(0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内埋蔵文化財の保存と活用を図る。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、発掘作業を随時公開し、ホームページ等で進捗状況を適時発信する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
国特別史跡 齋尾廃寺跡 発掘調査事 業	史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、齋尾廃寺跡の発掘調査を実施する。			
	報償金	203千円	国1,000 県500 町 530 (補助 対象経費 2,000)	
	需用費	178千円		
	作業員派遣委託料	1,414千円		
	自然科学分析委託料	88千円		
	借上料	147千円		
合計		2,030		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習センター管理室			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	5 生涯学習センター運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	43,415	0	0	3,796	0	39,619	生涯学習センター利用料 1,200 駅南駐車場使用料 316 コピー代等 180 ふるさと未来夢基金繰入金 2100	
前年度予算額	445,116 (比較：△401,701)			前々年度決算額		54,738 (比較：△11,323)		
トータルコスト	53,589	一般職人件費		7,005 (1人)		会計年度職員人件費		3,169 (1人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	子どもから高齢者まですべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行う。また、図書館前の談話コーナーを子育て支援の場としてリニューアルし、図書館利用を促進すると共に、子育て世代と他世代交流の場として地域の活性化を図る。			
前年度からの改善点等	安心安全に施設を利用できるように、経年劣化により老朽化の進んでいた施設設備の更新を行った。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	○安心・安全な公共施設の場を提供するために、老朽化の進んだ設備等については、計画的に修繕していく取り組みを検討する。 ○現在のレイアウトを活かしながら、利用者のニーズに対応した施設となるよう環境整備を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
生涯学習センター管理費 【改善】	安心安全で快適な社会教育の場を提供するため、生涯学習センターの維持管理を行う。 ・管理費 35,875千円 ・防犯灯整備 2,002千円 ・和室畳表替え 370千円 ・避難用はしご修繕 351千円 ・備品購入費 832千円	39,430	単町	老朽化した施設を適正に管理し来館者の安全を守るため、施設修繕を行う。
談話コーナー整備事業 【新規】	生涯学習センター2階の談話コーナーを子育て世代も利用できるように整備し、雨天の遊び場を確保すると共に、既存の談話コーナー利用者と子育て世代の交流の場とし、地域の活性化を図る。 ・手数料 167千円 ・備品購入費 2,119千円	2,286	単町	OR6政策コンテスト成果
職場環境改善事業 【新規】	来館者の接客改善、プライバシー確保、及び職場環境改善のため、3階執務室の配置替えを行う。 ・工事請負費 906千円 ・備品購入費 603千円 ・役員費 190千円	1,699	単町	OR6政策コンテスト成果
	合計	43,415		
その他事業内容	全ての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に実施する。			

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	329	事業名	図書館活動費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	琴浦町図書館			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	18,814	0	0	8	0	18,806	図書館コピー代等	
前年度予算額	19,447 (比較：△633)				前々年度決算額	19,707 (比較：△893)		
トータルコスト	65,207	一般職人件費		28,020 (4人)		会計年度職員人件費		18,373 (6人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	図書資料の充実を図り、知の拠点として町民の「調べたい」「学びたい」を支えるとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供する。また、小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図る。			
前年度からの改善点等	利用者により利用しやすい環境づくりを進める。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、書架整理と環境整備を進め、利用者のニーズに合わせて書架の拡張や内容の充実を図る。</li> <li>○第3次琴浦町子ども読書活動推進計画をもとに、子どもが読書を楽しむきっかけをつくり、進んで読書活動を行うことができる環境整備に努める。</li> <li>○読書に障がいのある方が利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるよう取り組む。</li> </ul>			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
図書館システムの運用	図書館システム(京セラ ELCIELO)のリース料及び保守委託料 ・リース料 6,075千円 ・保守委託料 1,756千円	7,831	単町	
図書館ICタグシステムの運用	図書館ICタグシステムの保守委託料及びICタグ購入用消耗品費 ・保守委託料 2,318千円 ・消耗品費 (ICタグ) 132千円	2,450	単町	
図書館資料の整備、提供事業	住民ニーズに合わせた図書を整備するとともに、所蔵資料、郷土資料等を適正に分類・管理し提供する。 ・図書、AV資料等購入費 5,400千円 ・新聞、雑誌購入費 1,125千円 ・図書館装備用消耗品費 161千円 ・図書装備手数料 66千円 ・書誌データ使用手数料 440千円	7,192	単町	
人と本をつなげるきっかけづくり	こども園や小学校、高齢者施設等へ団体貸出を行い、本に触れ親しむ機会を提供する。 春秋の読書週間や夏休み等にあわせたイベントや講座を実施する。 ・ブックスタートの実施 358千円 ・各種イベント、講座の実施 49千円 ・音読会の推進 等	407	単町	
木のおもちゃのレンタル事業	木のおもちゃの消毒、破損等の補修等を行い、安心・安全に提供する。 ・メンテナンス手数料 304千円	304	単町	
障がい者サービス	活字による読書が困難な方を対象に「録音図書」の貸出を行う。 ・サビ工図書館利用手数料 40千円	40	単町	
図書館管理運営用その他経費	図書館の管理運営に必要な経費 ・図書館協議会委員報酬 54千円 ・日本図書館協会等負担金 28千円 ・消耗品費 484千円 ・テレビ受信料 15千円 ・通信運搬費 9千円	590	単町	
合計		18,814		
その他事業内容	図書館が全町民の居場所、課題解決や生涯学習の場となるように管理、運営を行う。			



小学生図書館見学



読みメンおはなし会



読み間かせボランティア研修会

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	311	事業名	文化振興事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	7 文化芸術振興費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑦ 文化・芸術活動の振興		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,580	0	200	315	0	2,065	ふるさと未来夢基金繰入金 300 コンサートチケット代金 15	
前年度予算額	2,689 (比較：△109)				前々年度決算額		1,889 (比較：691)	
トータルコスト	5,382	一般職人件費		2,802 (0.4人)			会計年度職員人件費 (0人)	

## 3 事業の概要

事業の目的(なんのためか)	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○鳥取県文化振興財団との連携協定に基づき、当財団によるアウトリーチ事業開催等、町内での文化芸術事業を拡充する。 ○コロナ後の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援を行う。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
コトウラ芸術宅配便	町内教育機関と連携してのアウトリーチ公演(芸術宅配便)を開催、文化芸術鑑賞開始のきっかけづくりを展開。 報償金 60千円	60	単町	
文化祭開催費	文化活動の向上、活性化や担い手確保のため文化祭を開催します。 消耗品費 50千円 印刷製本費 61千円 展示パネル設置・撤去委託料 1,268千円	1,379	単町	
音楽の魅力発見事業(鳥取県文化振興財団連携事業)	【目的】 鳥取県文化振興財団と連携し、町内における文化芸術鑑賞機会の充実を図る。 【内容】 事業内容<年間2公演程度> ・親子で楽しめる公演 ・鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演 ※事業費600千円を財団と折半 消耗品費 50千円 印刷製本費 61千円	411	単町	
アートスタート事業補助金	【目的】 ・就学前児童への文化芸術の機会提供 ・豊かな感性と創造性の育成 【内容】 就学前児童を主対象とした文化芸術の機会提供の事業への補助。 アートスタート活動支援事業補助金 補助率10/10(2件：200千円)	200	県10/10	
文化芸術振興補助金	【目的】 ・文化芸術団体の自主的な活動促進 ・町民への文化芸術機会の提供 【内容】 ・文化芸術団体が主催する鑑賞事業への補助。 補助率1/2(2件：200千円)	400	単町	
合唱団活動支援事業補助金	【目的】 ・児童への文化芸術の機会提供 ・活動を通じた児童の成長を目的 【内容】 児童を中心とした合唱団の練習、発表活動、団拡充の取組への補助。 80千円×1団体	80	単町	

体験講座希望文化団体等補助金	新規文化活動者確保のため体験講座開催を支援します。 補助率10/10 文化活動団体5団体×上限10千円	50	単町	
合計		2,580		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	333	事業名	一般管理	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用しなくなる運動拠点施設の整備		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	199	0	0	0	0	199		
前年度予算額	139 (比較:60)				前々年度決算額	142 (比較:57)		
トータルコスト	1,192	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費	293 (0.1人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会体育に関する一般的な管理運営を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
一般管理	社会体育施設にかかる管理運営 消耗品費 79千円 通信運搬費 120千円	199	単町	
	合計	199		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育振興費
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			③ 地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防		
	重点事業					

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	13,255	0	0	841	4,500	7,914	トレーニングルーム使用料 840 ウォーキング認定コース使用料 1	過疎債 4500
前年度予算額	22,207 (比較：△8,952)				前々年度決算額	11,568 (比較：1,687)		
トータルコスト	17,231	一般職人件費		2,802 (0.4人)		会計年度職員人件費		1,174 (0.4人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげる。</li> <li>・全国大会などで優秀な成績を収めた方を表彰し功績を讃え、今後の活力につなげる。</li> <li>・総合体育館トレーニングルームにコンディショニングコーディネーター及び町民トレーナー、フィットネストレーナーを配置し、若年層や働き盛り世代から高齢者にわたる広い世代の運動習慣の定着につなげる。</li> <li>・スポーツ推進委員との連携やウォーキングの推奨により町民の運動習慣の定着と介護予防及び健康寿命延伸に寄与する。</li> </ul>			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○トレーニングルームや体幹教室を活用して働き盛り世代の健康作りを進める必要があります。令和5年度はスポーツ推進委員を中心として障がい者や健康者が一緒に運動できるポッチャを普及し、令和6年度に交流大会を開催できるように努める。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
町スポーツ協会補助	町スポーツ協会活動費 補助金 2,500千円 負担金 551千円 (郡体育協会)	3,051	単町	
スポーツ少年団補助	スポーツ少年団の活動 消耗品費 20千円 負担金 8千円 (中部地区交流大会参加費) 補助金 1,065千円	1,093	単町	
トレーニングルーム運営及び教室開催	谷川コンディショニングコーディネーター及びフィットネストレーナー、町民トレーナーの指導体制の充実を図り、町民の運動習慣定着を推進する。 トレーニングルーム指導、体幹教室等各種教室の開催。 報奨金 803千円 (町民トレーナー、フィットネストレーナー) 消耗品費 50千円 修繕費 100千円 委託料 489千円 (機器保守点検) 委託料 5,217千円 (コンディショニングコーディネーター)	6,659	単町	
スポーツ推進委員活動	スポーツ推進委員の活動 委員報酬 1,367千円 費用弁償 192千円 (全国・中国大会旅費) 消耗品費 54千円 (事業にかかる分) 消耗品費 12千円 (全国・中国大会資料代) 保険料 58千円 (傷害保険) 負担金 54千円 (県・国協議会) 負担金 15千円 (郡連絡協議会) 備品購入費 50千円 (軽スポーツ用具)	1,802	単町	
スポーツ教室実行委員会への補助	スポーツ教室交流事業 補助金 270千円 (スポーツ教室交流会実行委員会)	270	単町	
部活動の地域移行	部活動の地域移行 夏休み期間中の東伯・赤碓合同部活動に係るスクールバス臨時便に係る経費 1往復 5,000円 報償金 80千円 (検討会委員) 委託料 120千円 (スクールバス)	200	単町	
その他事業	スポーツ振興全般にかかるその他事業 報償金 100千円 (国際大会) 消耗品費 15千円 (ガイナールホームタウンデー)	180	単町	

印刷製本費	44千円			
負担金	21千円 (ウオーキングステーション)			
	合計	13,255		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	349	事業名	社会体育利用施設管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,454	0	0	262	0	3,192	中学校体育館使用料 212 中学校屋外運動場夜間照明使用料 50	
前年度予算額	3,519 (比較：△65)			前々年度決算額		2,454 (比較：1,000)		
トータルコスト	5,725	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		1,571 (0.5人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	武道館(東伯・赤碓)、各地区体育施設(古布庄・安田・以西)等の維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
社会体育施設の管理運営	武道館(東伯・赤碓)、各地区体育施設(古布庄・安田・以西)等の維持管理を行う。			
	委託料	868千円(消防設備保守、体育館トイレ清掃)		
	消耗品費	240千円	3,454	単町
	修繕料	300千円		
	手数料	581千円		
	火災保険料	152千円		
	光熱水費	1,045千円		
	使用料	48千円		
原材料費	220千円			
	合計	3,454		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	350	事業名	平岩記念会館管理運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,515	0	0	102	0	1,413	平岩記念会館使用料 102	
前年度予算額	1,220 (比較：295)					前々年度決算額	1,153 (比較：362)	
トータルコスト	2,802	一般職人件費			700 (0.1人)	会計年度職員人件費	587 (0.2人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
平岩記念会館の管理運営	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
	消耗品費	40千円	1,515 単町	
	修繕料	229千円		
	火災保険料	130千円		
	光熱水費	614千円		
	手数料	63千円		
	委託料	438千円 (平岩記念会館清掃、消 防設備保守、浄化槽)		
	平岩教育福祉振興基金	1千円		
	利子積立金			
合計		1,515		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	23,078	0	0	1,356	0	21,722	総合公園施設使用料 1,220 社会体育諸収入 121 総合体育館シャワー使用料 15	
前年度予算額	25,198	(比較：△2,120)			前々年度決算額		17,535 (比較：5,543)	
トータルコスト	32,975	一般職人件費		4,203 (0.6人)			会計年度職員人件費 5,694 (1.9人)	

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
東伯総合公園の管理運営	消耗品費	782千円	単町	
	燃料費	478千円		
	委託料	952千円 (総合公園清掃)		
		3,803千円 (総合公園管理)		
		307千円 (電気設備保守)		
		55千円 (防火設備定期点検)		
		340千円 (浄化槽)		
		374千円 (消防設備保守)		
		583千円 (野球場整備)		
		707千円 (PCB含有廃棄物処分)		
	手数料	1,198千円		
	修繕料	2,925千円		
	火災保険料	311千円		
	光熱水費	5,690千円		
通信運搬費	144千円			
使用料	106千円 (下水道使用料)			
自動車重量税	7千円			
賃借料	300千円			
工事請負費	3,960千円 (総合体育館トランス取替工事)			
自動車保険料	44千円			
テレビ受信料	12千円			
	合計	23,078		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,733	0	0	142	0	2,591	トレーニングセンター使用料 142	
前年度予算額	3,120	(比較：△387)			前々年度決算額		1,895 (比較：838)	
トータルコスト	4,313	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	880 (0.3人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
農業者トレーニングセンターの管理運営	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行います。			
	修繕料	760千円	2,733	単町
	委託料	192千円 (消防設備保守)		
		247千円 (清掃委託料)		
		33千円 (防火設備定期点検)		
		91千円 (電気設備保守)		
	光熱水費	898千円		
	使用料	96千円 (下水道使用料)		
	通信運搬費	65千円		
	自動車重量税	7千円		
	手数料	219千円		
	火災保険料	37千円		
	自動車保険料	15千円		
	テレビ受信料	12千円		
消耗品費	61千円			
	合計	2,733		
その他事業内容				

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	418	事業名	赤碕総合運動公園管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,130	0	0	756	0	5,374	赤碕総合運動公園使用料 708 社会体育諸収入 48	
前年度予算額	6,551 (比較：△421)			前々年度決算額		6,157 (比較：△27)		
トータルコスト	10,356	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		3,526 (1.3人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。				
前年度からの改善点等					
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点	
赤碕総合運動公園の管理運営	自動車保険料	1 5 千円	6,130	単町	
	委託料	1 7 2 千円 (赤碕運動公園清掃)			
		2 2 千円 (消防機器点検)			
		2 6 4 千円 (野球場スコアボード点検)			
		5 7 2 千円 (野球場内野部整備)			
		3 5 6 千円 (電気設備保守)			
		2 2 千円 (浄化槽維持管理)			
	光熱水費	3, 3 2 4 千円			
	通信運搬費	7 0 千円			
	手数料	3 0 千円			
	消耗品費	6 3 7 千円 (黒土混合土等)			
	テレビ受信料	1 2 千円			
	燃料費	1 4 4 千円			
修繕料	4 0 0 千円				
火災保険料	9 0 千円				
	合計	6,130			
その他事業内容					

# 令和7年度 事業説明書



一般会計

## 1 基本情報

事業番号	1627	事業名	東伯総合公園改修事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業						

## 2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	357,810	0	0	93,000	264,800	10	JFA日本サッカー協会助成金 45,000 スポーツ振興くじ助成金 48,000	過疎債 264,800
前年度予算額	165,660 (比較：192,150)		前々年度決算額		6,160 (比較：351,650)			
トータルコスト	361,312	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		0 (0人)

## 3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	東伯総合公園サッカー場を人工芝へ改修することにより、町民の年間を通じたスポーツ・レクリエーション活動の場を確保する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
東伯総合公園サッカー場芝剥ぎ取り <b>【新規】</b>	サッカー場へ新たに人工芝を敷設するため、天然芝の剥ぎ取りを行う。 ・工事請負費 847千円	847	単町	
東伯総合公園サッカー場改修工事 <b>【新規】</b>	サッカー場天然芝を人工芝へ改修することで、通年利用を可能とするなど、町民の利便性の向上を図る。 ・工事請負費 356,963千円	356,963	JFA日本サッカー協会助成金 45,000 スポーツ振興くじ助成金 48,000 町 263,963	
合計		357,810		
その他事業内容	○継続費の年割額			
	事業名	総額	年度	年割額
	東伯総合公園改修事業	519,970千円	令和6年度	162,160千円
			令和7年度	357,810千円